

# GNSS国際シンポジウム IS-GNSS 2015

(International Symposium on GNSS 2015)

開催期間：2015年11月16日～11月19日

開催場所：京都市勧業館「みやこめっせ」

主催：IS-GNSS 2015組織委員会

共催：一般社団法人 測位航法学会、一般財団法人 衛星測位利用推進センター、他

支援：公益財団法人 宇宙科学振興会、公益財団法人 立石科学技術振興財団、他多数

代表：山川宏 (IS-GNSS 2015組織委員会 委員長)

GNSS国際シンポジウムは、アジア・オセアニア諸国／地域持ち回りで開催する国際会議で、GPS・GNSS研究の最先端の研究者や専門家が集まり、最新の研究成果を発表し、関連する知識の国際的な交換を意図しています。オープニングでは京都市長による歓迎挨拶もあり、続いてキーノート・セッション、Civil GPS Service Interface Committee (CGSIC)のアジア・太平洋地域ミーティング、衛星測位分野の国際的な状況・計画をはじめとして、政府機関等各界を代表する方の講演がプレナリーセッションとして行われました。

2日目からは4会場に分かれて、24カ国からの351名（うち、海外からの参加者137名、学生63名、論文140編）の参加者による口頭発表、ポスター発表、企業ブースにおける情報交換と議論がなされました。

今回のシンポジウムでは、日本独自の測位衛星「みちびき」を利用したバスロケーションシステム実証実験ツアーも行われました。生憎の雨天でしたが、金閣寺・伏見稲荷大社・清水寺を巡るツアーでもあり、参加者にハイテク技術と京都らしさを味わってもらえました。

今回は、4組織による共催、19組織による支援・後援、3組織による助成、22もの企業によるスポンサー支援により、成功裏にシンポジウムを閉幕することができました。

宇宙科学振興会様からの助成金は本シンポジウムの開催経費の一部として活用させていただきました。お陰様で、今回のシンポジウムで「最先端の科学技術による衛星測位分野の国際交流」がなされました。助成していただき有難うございました。



京都市長による、歓迎挨拶



キーノートスピーチ



企業展示、ポスター展示



研究発表の聴講



レセプションでの鏡割り